由良川水系加津良川洪水浸水想定区域図【想定最大規模】

N
W E
S

凡　例

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

- 0.5m未満の区域
- 0.5～1.0m未満の区域
- 1.0～2.0m未満の区域
- 2.0～3.0m未満の区域
- 3.0～5.0m未満の区域
- 5.0m以上の区域
- 河川等範囲
- 浸水想定検討区間

1:10,000

0　100　200　400　600　800　1000m

加津良川

１．説明文

（１）この図は、由良川水系加津良川の京都府管理区間について、水防法の規定により指定された想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

（２）この洪水浸水想定区域は、公表時点の加津良川の河道の整備状況等を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により加津良川が氾濫した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより予測したものです。

（３）なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮、内水による氾濫等を考慮していませんので、この洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際と異なる場合があります。

２．基本事項等

（１）作成主体	京都府　建設交通部砂防課、　中丹西土木事務所
（２）指定年月日	令和７年５月３０日
公表年月日	令和元年５月３０日
（３）告示番号	京都府告示第３１０号
（４）指定の根拠法令	水防法（昭和24年法律第193号）第14条第2項
（５）対象となる河川	由良川水系加津良川（実施区間） 左岸：起点から和久川合流点まで 右岸：起点から和久川合流点まで
（６）指定の前提となる降雨	和久川流域の24時間総雨量611㎜
（７）関係市町村	福知山市
（８）その他　氾濫区域を25m格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は、航空レーザー測量等により求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。	

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号　平 03 情使、第 24 号）